冤罪公爵令嬢は醜い廃嫡予定王子と悪に堕ちる

成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

どうして
こんなことに…

あっ♡
あっ♡
んッ♡
ぱんぱんぱんぱん

家族や領民の為
勉学や魔法訓練

厳しい
王妃教育にも
耐えてきたのに…

ん♡
んん♡

これがその
結末なの？

あぁ♡あぁ♡
ぐっ
ぎっ♡
あへ♡
ぷる
なかは
いやぁぁッ!!
ぷにぷにぷに

シルヴィア
ラインハルト!!

貴様は自分の妹の
可憐さに醜い嫉妬を抱き
裏で陰湿なイジメを行い！

しかも領民の税を
自分が僕の
婚約者になるための
賄賂に使っていた
そうだな！

そのような悪女は
我がの妻には
ふさわしくない！

よって貴様との婚約は
破棄にさせてもらう！

何を言ってるの？
婚約の件は
殿下からの
求婚だったはず…

ご冗談が
すぎますよ
殿下？

それに私は
エリィ(妹)に一度だって
イジメやいやがらせ
なんてした事もない

ラインハルト公爵家長女
シルヴィア・ラインハルト

ラインハルト公爵家次女
エリィ・ラインハルト

うぅ…

キッ

冗談ではない！
言い逃れなど
見苦しい！

アーレリア王国第二王子
ギルバート・フェーゲライン

しかし貴様は腐っても公爵令嬢

このまま普通に婚約破棄をすると王家と公爵家の間に亀裂ができてしまう

それは僕も両家も望まない…

ざわ

ざわ

そこでエリィが名案を思い付いた！

貴様は我が国の王太子ブラム・フェーゲラインの妻になるのだ！

!?

ブラム殿下と私が結婚!?

そのとおり！我が兄はなぜか一向に婚約者ができなかったのだが…

アーレリア王国第一王子
ブラム・フェーゲライン

兄上もやっと良縁に恵まれ公爵家は娘を王家に嫁がせられるこれなら文句はあるまい

せいぜいエリィに感謝するのだなお前のような姉の結婚の心配もしてくれるまさに天使のような女性だ！

貴様の父、ラインハルト公爵からすでに輿入れの準備は整っているから家に戻り次第出立するようにとのことだ

国王陛下からもすでに承諾はもらっている

ざわ…

ざわ…

ざわ…

ざわ…

良かったですね お姉様なら きっと将来の王妃も 立派に勤まりますね

その娼婦のような 下品な体も ブラム殿下なら きっと気に入って くださいます

なっ!?

クス…

わたくしも イジメられた 過去の事は水に 流してお祝いを 申し上げますね

こんな悪女に 祝辞など…エリィは 何て慈悲深いんだ！

私は 婚約者に…

ゴーン

ゴーン

そして 妹に…

裏切られたの…？

ご結婚おめでとう ございますお姉様♥ どうぞ末永くお幸せに

王城フルクベルク

城内
第一王子の寝室

本当に翌日には
結婚させられる
なんて…

ギシッ

しかも
怪しい魔術に手を出して
国王陛下の怒りを買い

近々廃嫡されると
噂の第一王子がお相手
なんて…実質追放ね

それにしても
こうもすんなり事が
進むなんて…

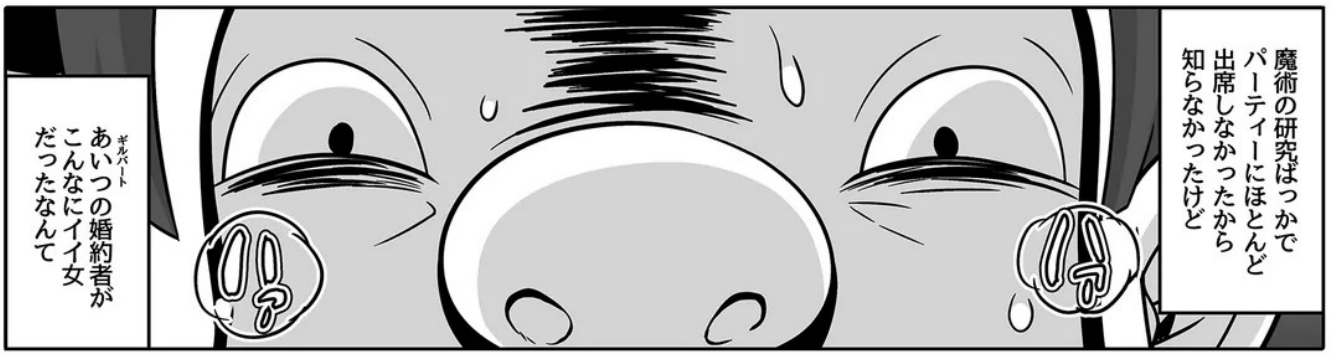
普段わがままな妹と
第二王子殿下にしては
用意周到…

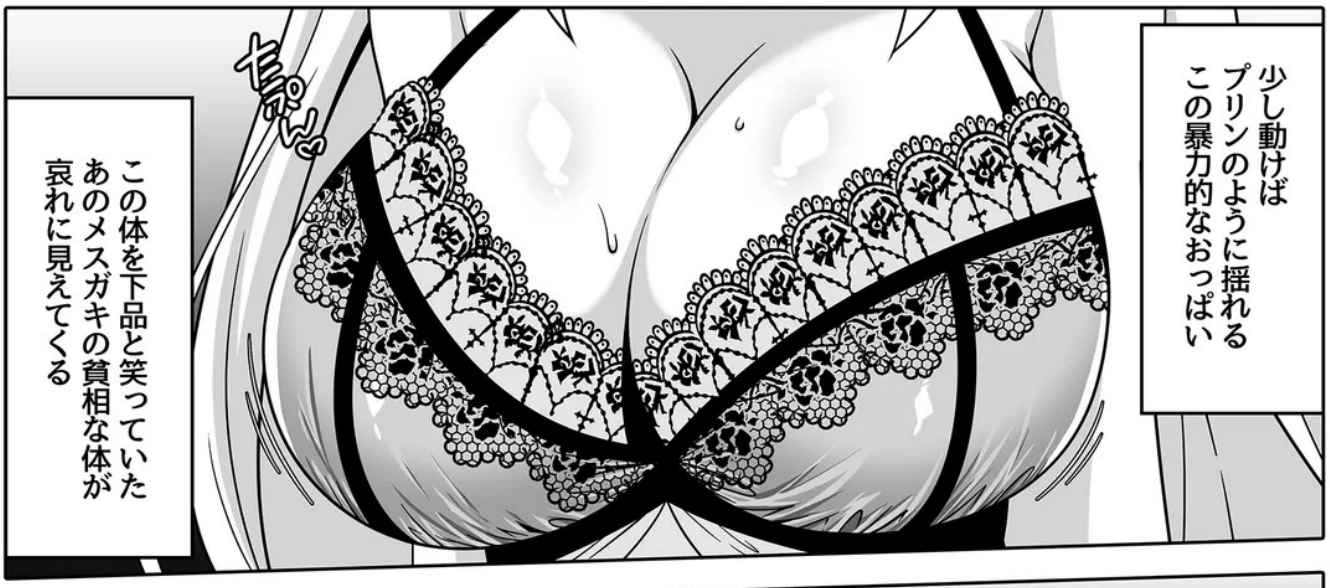
おそらく普段から
領地経営に口をはさむ
私を嫌っていて
妹を溺愛していた
お父様の入れ知恵ね…

ハァ

まあいまさらすべてが手遅れね…
さすがに処刑はないでしょうけど
私は廃嫡予定の第一王子と共に
処罰される悪役ってところかしら…

プリンッ


魔術の研究ばっかで
パーティーにほとんど
出席しなかったから
知らなかったけど
あいつの婚約者(ギルバート)が
こんなにイイ女
だったなんて


少し動けば
プリンのように揺れる
この暴力的なおっぱい
たぷん♡
この体を下品と笑っていた
あのメスガキの貧相な体が
哀れに見えてくる

そして思わず
かぶりつきたくなるような
張りのる大きい尻
ぷりん♡
むちっ♡
これならボクの
世継ぎを何人でも
孕ませられる

艶やかな唇も
美味そうだ
ぷにっ♡
クイッ
もう無理
我慢できない！

んんっ!?
いや…
こんな強引に
ファーストキスが
奪われるなんて…
ンッ
子供の頃から
貴族として
望まぬ結婚は
覚悟していたけれど…
舌が強引に
口内に入ってきて
舐めまわされてる
なんて
いやらしくて
下品なキス

っ…！放してください！

女性に断りもなく口づけをするなど最低です！

もう夫婦なんだからいちいち許可なんていらないだろ？

それにこんなエロい体を目の前に我慢する方が無理だ！

悪いのはこんなドスケベボディに育ったシルヴィアちゃんなんだからね！

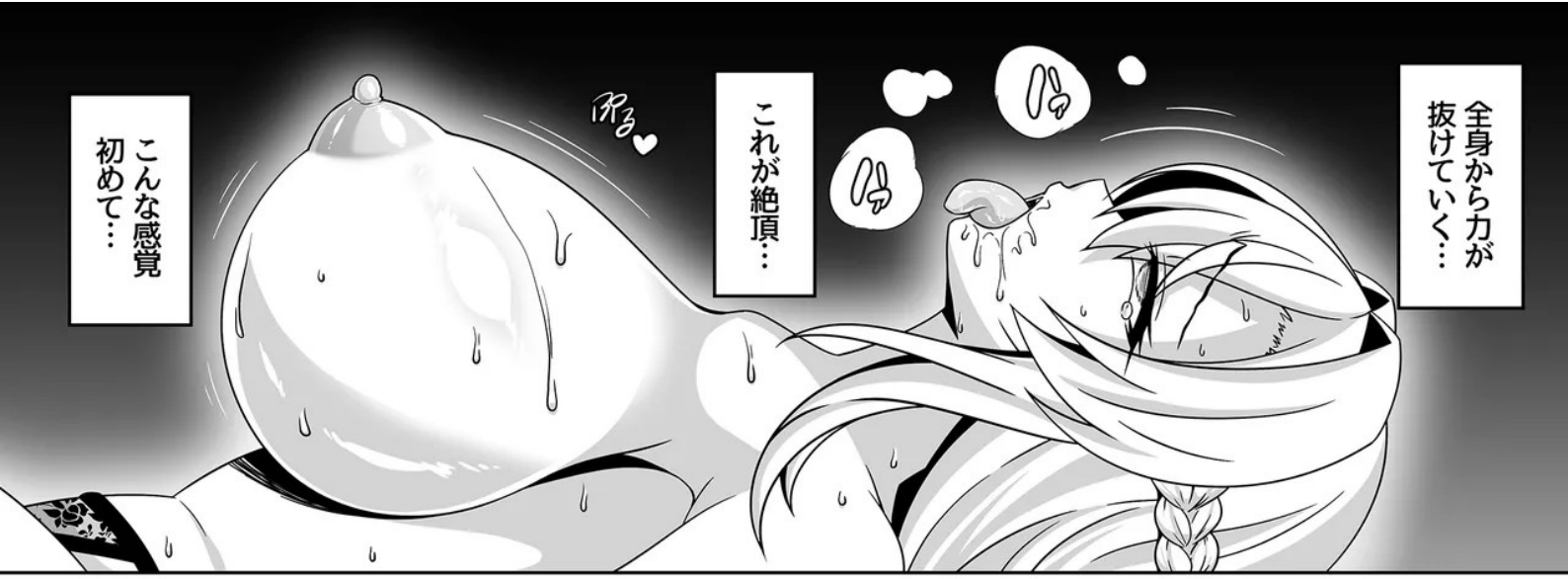
このぷっくりした乳首も甘くて美味しい

これを味あわない弟は大バカ者だよ

まあ弟は昔から胸の大きい女は苦手だったからね

まさかそんな理由で私は嫌われてたの…

でもボクはシルヴィアちゃんのドスケベボディが大好きだから
私の体はいったいどうなっているの？
こんな無理矢理体を弄ばれてるだけなのに全身が痺れて…
もう…ダメッ！
乳首だけで潮を吹けるなんて
まさにボクにふさわしいドスケベ淫乱妻だよ


全身から力が抜けていく…
はぁ
はぁ
これが絶頂…
こんな感覚初めて…

へばるのはまだ早いこれからがボク達の初夜本番なんだから
!?
なにあの大きさ!?
性教育の本で読んだのとサイズも形も全然違う!?

あれが…本物の男性器?

これだけ濡れてたらほぐさなくてもいいね?
お、お待ちください そんな挿入るわけが…
ぬっぷ

公爵令嬢の初物マンコいただきまーす

ビクッ

んぐぅ

ぶっ

ズブッ♡

い、痛いっ！

凄い！初めてでボクのモノを一気に挿入られるなんて

筆おろしのメイドは入口までしか挿入らなかったのに

ギリ…

ギリ…

お…

でも…

私の純潔がこんな形で奪われるなんて…

ギリ…

ギ

ギ

どうして…

なんでこんなに気持ちいいのぉ…!?

はぁ♡

ぱっ♡

あ♡

あん♡

もみ♡

ぷにぷ♡

ぷにぷ♡

誇りも…

ひゃっ♡

ベロォ〜ン♡

気品も…

ぎゅぅ♡

ぎゅぅ♡

キュンキュン

ぐにぐ♡

イッグゥ♡

責務も…

ひぐ♡

私の中の貴族の矜持が音を立てて壊れていく…

第一王子妃室

あれから数週間経って自室と補佐の侍女を付けてもらえたけれど…

お飾りの第一王子妃だからか公務も特にないしすることがない…

ただ毎日ブラム殿下のお相手をさせられる日々…

そういえば時々別室に一日中籠ってたわね

その日は相手をしなくて済んだけど

それにしても退屈ね…

あの本を読みたいのだけれど

私は今忙しいので一人で勝手に図書室に行ってきてください

ギルバート殿下の婚約者だった頃はよくしてくれた城の使用人達も

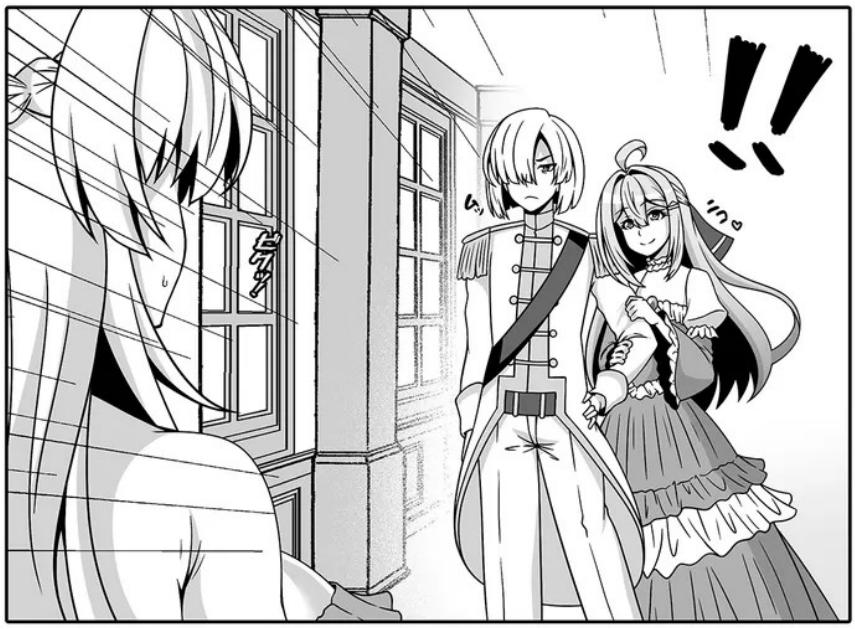
今では皆私の事をさげすむ

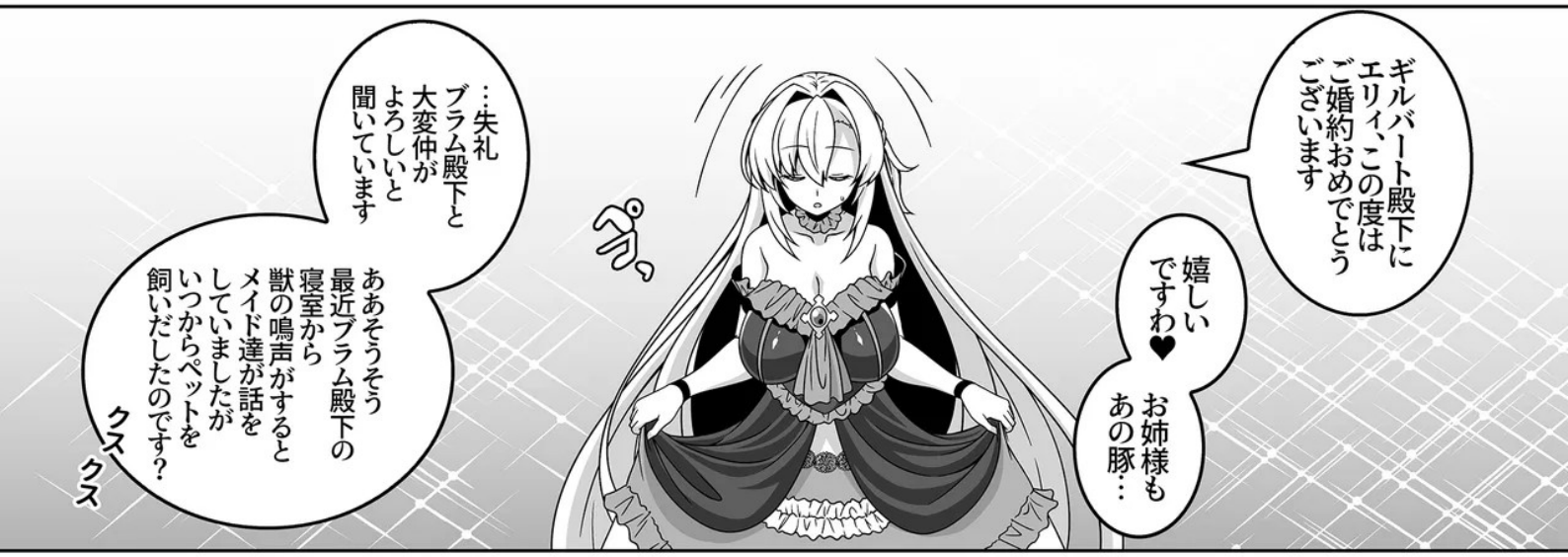
あれ見て歩くだけで下品に揺れて まるで牛のお乳ね

毎日お盛んだからさらに大きくなったんじゃない？

もうここに味方は誰もいないのね…

あら？
お姉様じゃありませんか？


!!
ビッ
ビッ


ギルバート殿下にエリィ、この度はご婚約おめでとうございます
嬉しいですわ♥ お姉様もあの豚…
…失礼 ブラム殿下と大変仲がよろしいと聞いています
ああそうそう 最近ブラム殿下の寝室から獣の鳴声がするとメイド達が話をしていましたがいつからペットを飼いだしたのです？
クスクス

ふんっ 目ざわりだからさっさと行け
……失礼いたします
くすっ♡
はぁ…

ああそういえば 愛しの旦那様がお前を探していたぞ
早く行ってやるがいいさ
こんな屈辱 一体いつまで……
クスクス
いいハッ

たしかこの部屋はブラム殿下がよく籠っている部屋？

ガチャ

普段は誰も入室してはならないはずなのに…

失礼します

カッ

お呼びでしょう……っ！

ドン

何ですかこれは!?

待っていたよシルヴィアちゃん

どうだい見事だろう？長年研究していた魔術式がやっと完成した

自身の人間としての存在を対価に悪魔から強大な力を得られる禁断の契約術式がね

悪魔との契約!? それはこの国…いえこの世界最大の禁忌なはず…

どうしてこんなおぞましいものを!?

どうしてかって？それはね……

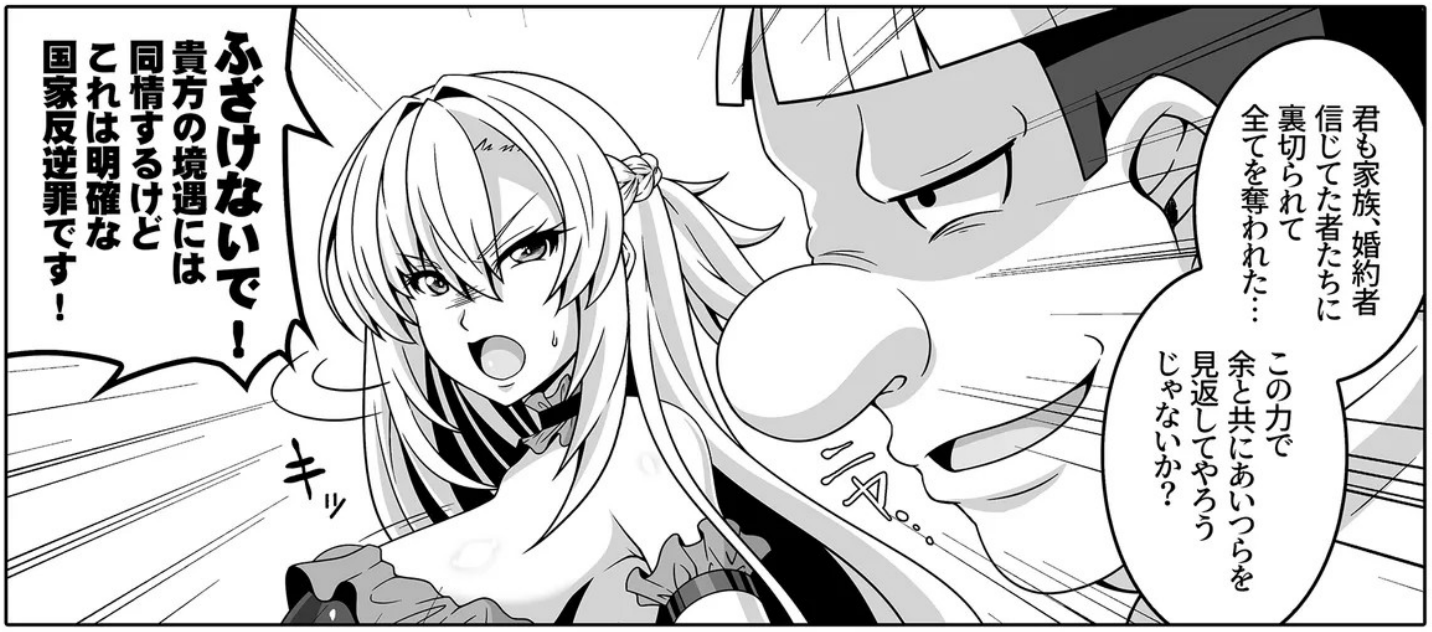
ぐちゅ

ゲキッ

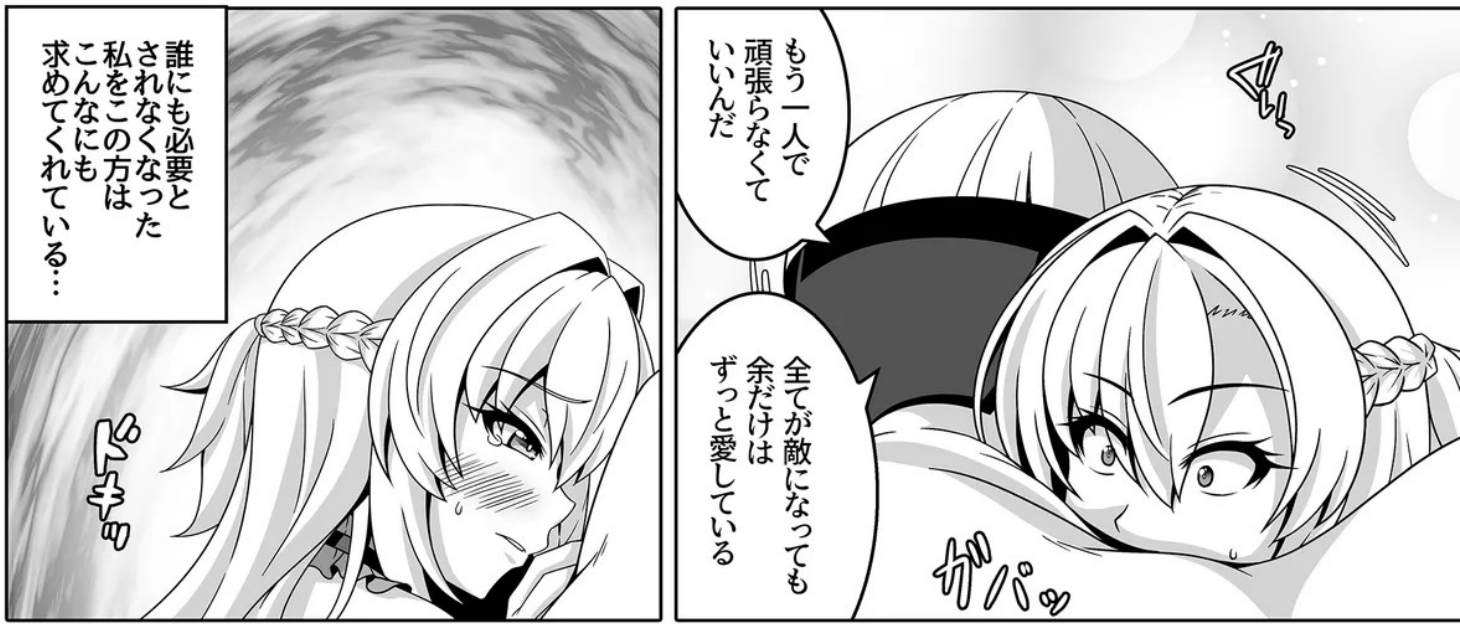
産みの母が庶民だった事や顔の醜さで家族から嫌われ…
お前はなぜそんな事もできない！
少しは弟を見習え！
なんて醜い子…
バッ

それでもいずれ王位を継いだらこの屈辱も終わると信じてた…
豚は地べたがお似合いだよねあにうえ？
ゲシッ

それなのにいまさら王位継承権を弟に？……冗談じゃない！
だったらボク…いや余はこの禁忌の力を使って王位を奪い取ってやる！
もう誰に遠慮することも耐えることもない！
ドッカァァァン


君も家族、婚約者信じてた者たちに裏切られて全てを奪われた…
この力で余と共にあいつらを見返してやろうじゃないか？
ふざけないで！貴方の境遇には同情するけどこれは明確な国家反逆罪です！
キッ

汚い手を使って君を陥れた連中のいるこの国になぜ忠義を尽くす？
巷で君は領民の税で私腹を肥やし実の妹にイジメをおこない婚約者からは見捨てられてお情けで生かされてる悪役令嬢ということになってる…もはや誰も君を愛してはくれまい…
でも……私はこの国の貴族で…



どうか私の事をシルヴィとお呼びください♥

これからは私も殿下…いえ旦那様を生涯愛していきます♥

ぱあああ

どこまでも共に堕ちていきましょう♥

ぐにッ♥

私はただ誰かに愛されたかっただけなんだ…

どうぞ私のイヤらしい体をお好きにお使いください♥

スギ…

身も心もブラム様で染め上げて！

これで君は本当に余の花嫁だ！

ぶぼおおおお♡♡

ぎゅぎゅっ

これが本当の愛♥

私の幸せはこんなに近くにあったのね…♥

今まで感じたこともない幸福感が全身を貫いて…気持ちいい♥♥

ブラム様の男性器熱くてとても気持ちいいですぅ♥

淑女の皮を脱ぎ捨ててもっと下品な言葉で言いなさい

はいっ♥

チンポ♥

チンポチンポおチンポぉ♥♥

おチンポもっと欲しいのぉ♥

そうだ！本当の自分をさらけ出せ！

そして余と共に理想の楽園を作ろう！

はぁい♥

オ

オ

オ

オ

ブラ様♥大好きぃ♥

ビュル

ビュルル♥

愛してしまうぅ♥

体が……
あ♡
ぐちゃ
ぐちゃ
あ♡
溶けて…いく…♥
ザバァッ！
ザバァッ！
ブルンッ
まるで生まれ変わったみたい♥
ドロォ…
ドロォ…
は！…
ビチャ
ビチャ
ボチャ
さあ、この力で全てを蹂躙しましょう♥
ようー
ゆさっ♡
ムニッ♡

数時間後…

パンッ
パンッ
パンッ
いやあぁッ!!
ぐぽ♡
ぐぽッ

痛いッ!!
誰か…助けて
なぜ化物が猟肉だと?
もうイヤ…
抜いてください
お腹が裂ける!
夫と子供を残して死にたくない!
パンッ
パンッ
ずぽっ
アッ♡
ビクッ♡

ディアブル・オークキング
豚帝鬼の魔王
ブラム・フェーゲライン

おまんこになかだしされてい♡
アッ♡
ユサ…
ユサ…
ユサ…

ずいぶん手間取ったなシルヴィ?
ズッ
ズッ

遅くなって申し訳ありませんブラム様♥
ぱんぱん
!?

ミシ…
こ、国王陛下!?

この男は異変を察して我先に逃げ出そうとしていたので護衛の兵士を皆殺しにしたら

醜く命乞いをしてきたので搾り殺しておきました♥

くくくっ 最期にいい思いができたな父上？

貴女もブラム様のザーメンを頂けと良かったわね♥

シルヴィア様…

助ける？ どうして？

ブラム様のおかげで薄汚い人間をやめられるのに？

今までの事は謝ります！ ですからどうかお助けください！

にちゃあ…

ムチッ

それに私達魔族と交わってその淫紋が浮かんだらもう手遅れ…

これから貴女も勤勉で従順な真の我が国の国民になれるの

ご家族の元にも魔族化した城の者を向かわせたから

すぐに愛する家族にも再会できるわ♥

ぬるぬる

ぬぽぽ

どろっ

ムチッ

さて…

イヤァァァ!!

ネメシス・クイーンサキュバス

淫魔嬢の魔王妃

シルヴィア・ラインハルト

ブラム様ぁ♥

お耳美味しい♥

あのメイドを見ていたら私も疼いてしまって♥

続きの報告はご奉仕しながらでもよろしいですか？

好きにするがいい

たくましいお胸♥

残念ながらギルバート殿下と王妃様は国王様より先に脱出していたみたいで

お子ポ様素敵♥

すでにこの城にはいないようでした

おそらく一緒に逃げた妹と共に私の実家ラインハルト家に向かったのではないかと

逃げ足の早い奴らだ

まあお楽しみは後に取っておこう

ハッ♥

それより今は
シルヴィの舌技が
よすぎてもう
イキそうだ

このまま
口に射精しても
いいがシルヴィは
どこに欲しい？

お口もいいですが
やっぱり先ほどから
疼いてしょうがない

私のイヤらしい
おマンコに♥

いっぱい突いて
私の膣奥で射精して
ブラム様の赤ちゃんを
孕ませてください♥

望み通り余の子を
孕ませてやる！

ブラム様の
極太オークチンポ
キタァッ♥

赤ちゃんのお部屋コンコンされるの好きぃ♥

おチンポを挿入たままおマンコぐりぐりするのはズルいですぅ♥

さすが余のサキュバス嫁！吸盤みたいに吸い付いてチンポを放そうとしない

全くスケベなメスマンコだ

そうしたのはブラム様ではありませんか♥

では責任を取らないとな！

ブラム様ピストン激しいです♥

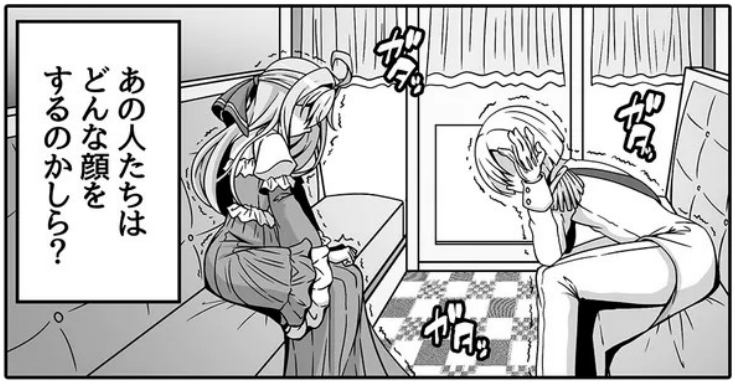
おチンポもイキそうなのですね♥

私のおマンコも共にイキます♥

膣内に射精すぞ！
ゾク♥
ゾク♥
ガクッ
ぶるっ
ビクッ
ガシッ
ビクッ
ビクッ
ビク

…ザーメンいっぱい…♥
はぁ♥
ドサッ
ドロ…
はぁ♥
愛する旦那様の特濃ザーメンでお腹タプタプ…♥
なんて幸せなの♥
お腹暖かい…♥

さすがはオークの精力・
あれだけ射精しても萎えない気がしない
ボロロ…
ぴと
ビッ!!
どろっ
さて…次は お前たちの番だ



あとがき

この度はこの本を手に取ってくださりありがとうございます
初めてのオリジナル本制作となりましたがいかがだったでしょうか？

基本ファンタジーが好きなので勇者パーティーモノを描くか
貴族令嬢モノを描くかで悩みましたが、私が今ハマっている
悪役令嬢モノ的な感じにしようと思い今回の作品を制作しました。

いつも描いてるのと違い設定もキャラデザも全部自分で考えるのは
非常に悩みましたが完成してよかったです(*´ω｀*)
ただどうしても一話で登場人物全員を堕とすことできなかったため
少々中途半端に締めさせていただきました。

初のオリジナル本で需要がわかっていないので皆さんの反応を
見て、来年に続きを描くか決めさせていただきます。
それでは来年もよろしくお願いしますm(_ _)m

伊智みりしゃ

奥付

発行日　2025年12月31日
印刷　ねこのしっぽ　様
発行　あつがり義勇軍/伊智みりしゃ

連絡先　militia.minpei1913@outlook.jp
X（旧Twitter）　Pixiv

あつかり義勇軍